

どのむかし話かな？①

名前

むかし話のあらすじと、正しい「だい名」をせんでむすびましょう

1

ある動物が、助けてくれたおじいさんとおばあさんに恩返しをする話です。恩返しの仕方は、自分の「羽」と、おじいさんに買ってきてもらった「糸」を織って仕上げた「きれいな布」を売ってお金をかせぐことでした。

2

お正月が近づいているのに、餅も買えないおじいさんとおばあさんがいました。作っていた「笠」を売り、もうけたお金でお正月の食べ物を買うつもりが、まったく売れませんでした。

3

おじいさんが山でいつものように木を切っていると、お昼の時間になりました。おばあさんが握ってくれたおむすびを食べようとすると、コロコロ転がり穴へ入ってしまいました。

4

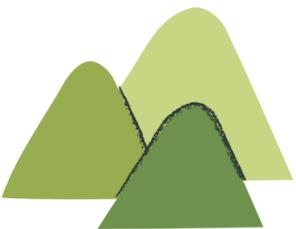
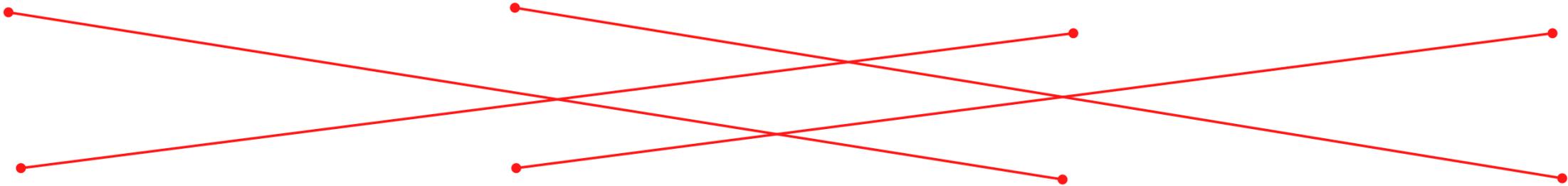
おじいさんが山へしば刈りをしている間、おばあさんは川で洗濯をしていると、大きな果物が流されてきました。家に持ち帰り、食べるために切ろうとしたら元気な男の子がとび出してきました。

おむすびころりん

桃太郎

鶴の恩返し

笠地蔵



どの昔話かな？②

名前

昔話のあらすじと、正しい「題名」を線で結びましょう

1

鬼たちの宴会にぐうぜん居合わせたおじいさんが、踊りをひろうする羽目になりました。すると、鬼たちに踊りをほめられました。ひよんなことからずっと気にしていたあるものを、取られてしまいます。

こぶとりじいさん

2

おじいさんがきつねの子どもに木の実を取ってあげました。ある日、子ぎつねと母さんぎつねからおれいにと「頭巾」をもらいました。頭巾のおかげで、長者様の娘が病にふせている理由が分かりました。

かちかち山

3

元気な男の子は、山のくまとすもうをとってかつほどの力もち。仲間の動物たちと出かけているとき、橋がなくなっていることに気がついた男の子は、木を倒して橋の代わりにしました。

聞き耳頭巾

4

うさぎとたぬきが出てくるお話です。悪いたぬきのせいでおばあさんがなくなり、なげき悲しんでいるおじいさんを見たうさぎが、おばあさんのあだうちのためにたぬき退治をします。

金太郎



どの昔話かな？③

名前

昔話のあらすじと、正しい「題名」を線で結びましょう

1

一つ目の大男に、たべものなどをとられてこまっていたむらの人たちは、大男をこらしめようとさくせんを考えました

うらしまたろう

2

おやゆびほどの大きさの男の子が「さむらいになる」と言って、京の都に出ていきました。仕えている家のお姫様が鬼にさらわれましたが、鬼退治をしてお姫様を助けます。

わらしべちょうじや

3

まずしいけれど真面目な若者が「観音様」にびんぼう生活からぬけ出したいと願いました。観音様からお告げをもらい、お告げ通りに行動すると、色々なことが起きました。

だんだらぼっち

4

漁師の若者が、浜辺で子どもたちにいじめられている亀を助けてあげました。亀はお礼にと、若者を海の中の竜宮城に連れていきました。

いっすんぼうし



どの昔話かな？④

名前

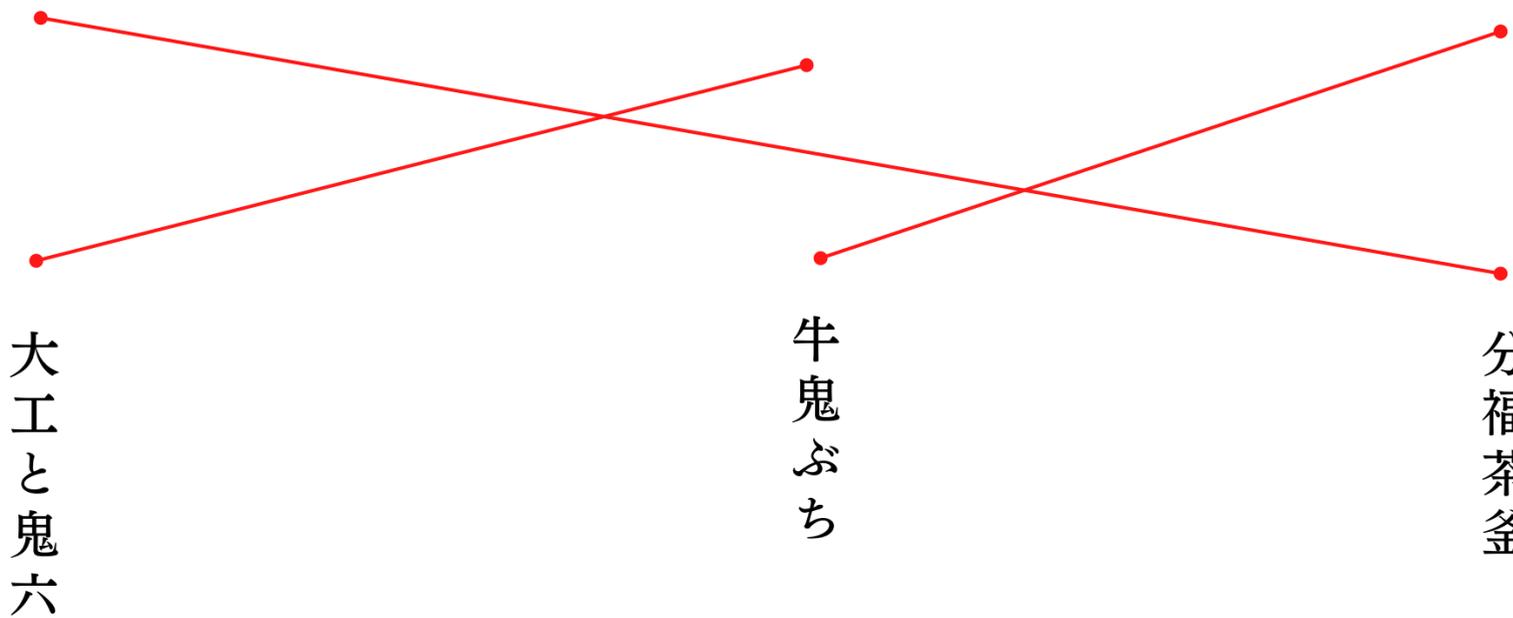
昔話のあらすじと、正しい「題名」を線で結びましょう

1 年よりの木こりと若い木こりが山で木を切っていました。その山は「まもの」がでるといううわさがあり、年よりの木こりは「まもの」が出ないかと警戒していました。

2 雨がふるたびにながれてしまう橋がありました。村人たちから橋を作るようにたのまれた男がなやんでいると、おにが「お前の目玉と引きかえに橋を作ってやる」と言い、橋を作ってしまった。

3 お茶のかまに変身していた「たぬき」がひよんなことからまずしい男に引き取ってもらい、つなわたりなどの芸を見せてお金をかせぎ、男はお金持ちになりました。

4 心優しいおじいさんと意地悪なおばあさんが暮らしていました。ある日、おじいさんが畑から家へ戻る途中、怪我をしている動物を見つけました。かわいそうに思ったおじいさんは家に連れていき、手当てをしてあげました。



舌切り雀



どの昔話かな？⑤

名前

昔話のあらすじと、正しい「題名」を線で結びましょう

1

心優しいおじいさんとおばあさんと、欲深い意地悪なおじいさんとおばあさんが隣り同士に住んでいました。ある日、優しいおじいさんのところに犬が走ってきました。意地悪じいさんの畑を荒らしているというのです。

2

竹取りのおじいさんが竹を切っている時、光りかがやく竹を見つけた。おじいさんが切つてみると、その中には小さな女の子がいたのです。子どもはいないおじいさんは家に連れて帰り、おばあさんと育てることにしました。

3

昔、神様が動物たちに「今度の元旦に私のところに来なさい。十番目までに着いた者は、これから一年交代で動物の大将とする」とお触れをだしました。

4

病弱なお母さんと男の子が暮らしていました。お母さんに薬を買いたくてもお金が足りず、買えません。裕福なおじいさんにお金を借りて薬を買いました。お金をか返すために、男の子は一生懸命働きました。

かぐやひめ

じゅうにの
はじまり

はなさかじいさん

ごんぞうむし

